

地域医療を育てる会 福祉と医療の学習会記録

2006年9月16日(土)

13:30~16:00

東金ふれあいセンター

出席者(敬称略): 児玉、柳澤、山尾、新夫婦、阿部、藤本、大野

進行: 大野 記録: 大野

配布資料: 福岡地区福祉ネット・まなびあい委員会(児玉氏)

説明

- ・ 児玉さんから、福岡地区福祉ネットの目的、目指しているところを説明していただきました。ポイントは下記の通り。
 - 先ず、高齢者が元気になること。高齢者が元気になれば、高齢者が持っているノウハウを色々な場面で活用できる。まちづくりにも生かせる。
 - 財政が厳しい。東金市も地方債を発行して賄っているが、借金の先送りではない。何か新しいことをやらないと、財政は破綻してしまう。
 - これからの金食い虫は、介護費と医療費になる。介護費を少しでも削減できれば、ありがたい。
 - そのために福岡地区を財政再生のモデル地区にして、行政にアピールしていきたい。
 - 特定高齢者を見つける方法として、基本検診で問診表を出してもらおう。
 - 基本健康診査受診率が24%と非常に低い。健康診断を受けていない人に特定高齢者が多いと推定される。
 - それを解消するためには、ボランティア活動に頼るしか方法はない。そこで福岡地区は福祉ネットを創った。
 - 8月に健康サロンをたちあげた。

このような説明がありました。

詳細は、「福岡地区福祉ネット・まなびあい委員会」参照のこと。

その後、意見交換をしました。

- ・ 大網(山辺)では、福岡地区の手法を見習いたい。
- ・ 集会場として、学校を利用する案もある。子供と老人の交流にもなる。
- ・